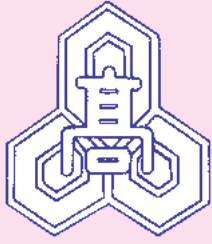


大田高校 P T A 広報



泰山木

Taisanboku

第111号

平成30年3月1日

島根県立大田高等学校
P T A 総務委員会



地域を支えていく人材として

校長 恩田克幸

本校の卒業生会である「瓶陵会」の各支部総会に出かけます。その折、校舎の改築の話があります。そして次に、卒業生の皆さんが高校生の時は何クラスでしたか？と問いかけてきました。幅広い年齢層のなかで、年齢の高い方々は「一学年七クラス、八クラスだった」、「教室はぎゅうぎゅう詰め状態だった」などという声で盛り上がりです。しかし、若い年代の方になると徐々にクラス数は減っていきます。そして、現在は一学年四クラスで、しかも定員に満たない全校で四〇〇人の学校ですと伝えてきました。近年の生徒数の現状をお話すると、出席者の多くの方からは驚きの声があり、その後、嘆きの声に変わっていきます。

先日、昨年度、大田市で生まれた子供の数は二四〇人だったという話を聞きました。現在の高校生たちは三二〇人くらいです。単純に考えて、生徒数はこれから十五年かけて、さらに三〇%減少していくという予想です。昨年度生まれた子供たちが高校生になる頃、本校は、大田市はどうなっているでしょうか。十五、六年後のこと、それほど遠い話ではありません。少子高齢社会の到来といわれて久しいですが、日本の将来の姿が、島根県や大田市に顕在化しています。

こうしたなかで、小学校や中学校ではふるさと学習を、高校では地域探究学習を進めています。子供たちに少しでも地域を見つめさせ、地域の良さを感じさせたり、課題を見出させたりしていく学習です。大田の地の自然環境や地域の人たちの暖かな人柄から、地元が好きと答える生徒たちが多いことに感心させられます。その一方で、多くの生徒たちは地元を離れ、上級学校に行ったり就職したりします。たとえ一旦は地元を離れても、その後どのように地域と関わっていったり、故郷に思いを馳せていったりするのを楽しみます。将来、島根県、そして大田市をはじめとする出身地域を支えていく人材となって活躍することを期待したいと思います。

卒業生へ

贈る言葉

保護者より

自分の人生を 切り開くのは自分自身

川村直孝

桜の門をくぐり入学したのが、つい昨日のようです。

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

皆様方は、教職員の皆様方の熱心なご指導、また、勉強や大高祭あるいは部活動などで共に汗をかき、時には涙した多くの仲間にも恵まれ、この三年間で、一回りも二回りも成長されました。これから先、大きな希望と目標を持ち、それぞれの道に進まれる皆様に、マザーテレサの言葉を贈りたいと思います。

思考に気をつけなさい、

それはいつか言葉になるから。

言葉に気をつけなさい、

それはいつか行動になるから。

行動に気をつけなさい、

それはいつか習慣になるから。

習慣に気をつけなさい、

それはいつか性格になるから。

性格に気をつけなさい、

それはいつか運命になるから。

運命は、自分の考え方一つで、どのようにも切り開くことができます。前向きにとらえることができます。

明るい人生の指針となることでしょう。実り多い、充実した人生をお送りください。

卒業生へ贈る言葉

俵みゆき

この度大田高校を卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございます。

三年前の四月、入学してからの日々はあつという間だったのではないのでしょうか？時が流れるのは本当に早いものです。

中学校とは違い進学率の高い大田高校での勉強は大変だったと思います。定期試験の他に度々行われる模試。土曜補習や夏期・冬期の補習授業など、本当によく頑張ったと思います。部活動をしていた人達は勉強と部活との両立は時に厳しく辛い事もあったと思います。ですがこの経験は今後の人生の糧となり、これから先にどんな困難な事や厳しい現実、辛い事があっても必ず乗り越えて行ける力になると信じています。

皆さんは今までにたくさんの人達に支えられ今日の日がある事を忘れず、そしてずっと応援してくれる人が居る事を思い頑張ってください。

卒業生へ贈る言葉

中田夕佳

あなた方は部活をやりてきた訳でも友達をつくりてきたわけでもありません。

ん。

勉強をやりてきたのです。入学式の日一人の先生が言われた事を聞いて、息子と私は顔を見合わせました。ダイゴ風と言えばYKM、ヤバイ！この学校マジだ！です。何せ息子の目標は、三年連続皆勤なのです。そして私の目標は、そんな息子の目標達成を、何が何でもサポートする事なのです。親バカ、過保護と言われて結構、送迎もするし、お弁当も一日だって忘れません。病気も怪我もありえない。そのかいあってかどうかは別にして、二年はあつさり皆勤、三年も秒読みです。どんな目標でも達成する事に意味がある、と思っています。たかが皆勤、されど皆勤。この結果は、きつといつか、どこかで、何かの役に立つはずですよ。自分の宝物として自慢してください。そんなあなたを私はうれしく、誇りに思います。卒業おめでとう。

夢に向かって

坂田美佳子

卒業生の皆様、卒業おめでとうございます。

高校生活は、中学までの生活とは全く違い、勉強面でも部活動でも想像以上に大変な日々だったと思います。つらい事も、真剣に悩んだ事もたくさんあったことでしょう。でも、その一つひとつを自分自身で考え、決めて乗り越えてきました。すべてが正しい選択ではなかったのかもしれませんが、自分で決めたことに向かって頑張っています。

卒業生へ贈る言葉

仲野義文

卒業おめでとう。小中学校と二度の卒業を経験しましたが、三度目となる高校のそれは、嬉しさと寂しさ、希望と不安、これまで以上に様々な想いが交差しているのではないのでしょうか。進路の別はありますが、この卒業がそれぞれの自立への第一歩であることは間違いありません。どうか自立した生活の上で、自由を謳歌して下さい。

福沢諭吉は自由について「自由と我儘の境は、他人の妨げをなすとならざるとの間にある」との名言を残しています。自由とは誰からの制約を受けないことであり、また生まれながらに持つ権利です。しかし、それを通すがあまり、他人に害を及ぼすこともしばしばです。そうなればそれは自由ではなく「自分勝手」になるわけです。自制心を持ち、周囲への配慮が大切です。最後に、陰日向なくご指導頂いた先生方には感謝申し上げます。そして卒業生の未来が輝くものであるように。

三年生からのメッセージ

高校生活を振り返って

一組 小谷真未

私の高校生活は、毎日笑顔で過ごすことのできたとても楽しい三年間でした。勉強と部活動の両立はとて大変でしたが、明るくて元気の友達に支えられ、乗り越えていくことができました。そして、将来について親身に考えて下さった先生方、いつも味方でいてくれた家族に本当に感謝しています。

この高校生活で身につけた、粘り強さ、集中力、行動力などたくさんのごとを生かして、大学生活も頑張りたいです。そして将来、立派な社会人になって地元で働き、親孝行していきたいです。

一組 安井菜々子

私の高校生活は忙しくも充実した日々でした。入学当初は不安なこともたくさんありましたが、今では大田高校に入って良かったと心から思います。

勉強と部活動の両立はとて大変でしたが、クラスメイトや部活動の仲間と励まし合いながら乗り越えることができました。家族や先生方にもたくさん支えていただきました。本当に感謝しています。私は周りの人に恵まれていて感じました。

四月からは大学生になり新生活が始まります。何事にも積極的に取り組み、社会の役に立てるよう努力します。そして支えてくださった方々に少しでも恩返しができるよう自分の目標に向かって頑張ります。

旅立ちによせて

二組 渡邊 このみ

私の高校三年間は、苦しいこともありましたが、たくさんの友達や先生に支えられ、楽しく過ごすことができました。これから先は今までとはまったく違う道に進みます。周りの環境が変わり慣れないことや不安なことがたくさんあると思いますが、自分を見失わず成長していきたいと思っています。

ここまでこれたのは自分一人の力ではなく、周りの仲間や先生、家族が支えてくれたおかげです。感謝の気持ち、自分を支えてくれる人の存在を忘れず、夢に向かって精一杯頑張ります。

後輩へのメッセージ

三組 波多野 涼香

高校三年間は、辛い事も楽しい事もたくさんあって、本当にあったという間でした。勉強

面では、課題やテストが多かったり、難しかったりしましたが、友達が励ましてくれたおかげで頑張ることができました。部活動でも、厳しい練習を乗り越えたり、楽しい思い出ができました。高校生活はとて充実したおかげになりました。高校生活はとて充実したところもたくさんありました。そういった後悔をしないように生活していけば、もっと充実した日々を送ることができると思いました。

みなさんには、周りの人を大切にし、何事にも前向きに取り組んでほしいです。そして、たくさん思い出を作り、充実した高校生活を送ってください。



遠 3組 1組 4組 2組 足



三年一組

担任 田中 由美
副担任 陶山晋太郎

卒業おめでとう

担任 田中 由美

三年生の皆さん、卒業おめでとう
ございます。今、皆さんの胸には高
校生活のどんな場面が思い浮かんで
いますか。自分の限界まで努力した
部活動でしょうか。一つになって楽
しく盛り上がり、踊った体育祭の応
援合戦でしょうか。それとも受験に
向けて不安に潰されそうになりなが
らも勉強したことでしょうか。私は
いつもそんなひたむきな皆さんから、
エネルギーをもらい、同時に責任の
大きさを感じながら慌ただしく過
してきました。

これからそれぞれ違う進路に進ん
でいく皆さんに、最後に、二つのこ
とを伝えたいと思います。一つ目は、
「人との出会いを大切にすること
です。つい自分と合う人、合わない
人と決めつけてしまいがちですが、
自分以外のどんな人からも学べるこ
とがあり、自分を見つめなおすヒン
トになります。皆さんが生きていく
社会は、国内でも国外でもしばしば
困難な問題が取り上げられています
が、皆さんと周りの人々が協力する



ことで十分対応していくことができ
ると思います。一つ目は、「焦らず
時間をかける」ことです。結果をす
ぐに求めないで、これからの勉強も
仕事も時間をかけてやってみてくだ
さい。特に、人間関係については、
信頼を得るためには時間がかかるこ
とは言うまでもありません。
大田高校でしっかりと学んできた
皆さん、明日から、自信を持って新
しい一歩を踏み出してください。皆
さんのそれぞれの場所での活躍を大
いに期待しています。

三年一組

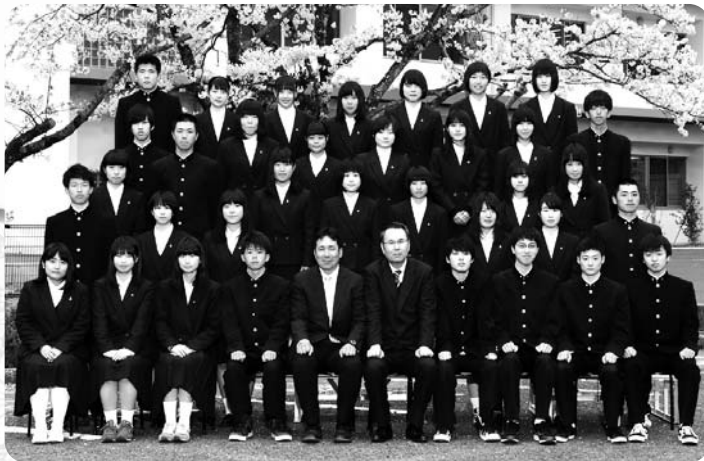
担任 松下 知広
副担任 細田 大輔

これからが勝負

担任 松下 知広

進学先に向け間もなく実家を離れ
るという頃が、私にもありました。
当時進学についていろいろ思うこと
もありました。それを知ってか知ら
ずか、ある方がこのようにおっしゃ
ってくださいました。「進学する大
学はゴールではないよ。これからが
勝負だよ。」今、私の大学生活を振
り返ると、学ぶべきことをたくさん
残したままにしてしまったという思
いもあります。多くの人々と出会
い、様々な経験が出来、私自身の世
界が広がったように感じられ、充実
していました。皆さんの多くは、も
うしばらくすると試験の結果が判明
することとなります。見事に第一志
望に進む人、そうでない人、様々で
しょう。これから先の、次のステッ
プに向けて、安心せず、前向きに、
また努力を重ねて欲しいです。

光陰矢の如し。「一年」という時
間が分子、「自分の年齢」が分母に
なるので、年齢を重ねるほど一年や
年月を短く感じるようになるよう
です。皆さんと四月に出会ったのが、
ついこの前だったように思います。
皆さんにとっても、かつて経験した



ことのないほど、早く過ぎ去った、
激動の一年だったと思います。皆さ
んには、現在満載されているであろ
う基礎的な知識や考え方を活用して、
これから自分の専門としたいこと
を思いきり学び、突き詰めてほしい
と思います。そして、出来れば将来
的には社会を良い方向に導き、何よ
り皆さんにとって充実した時間を過
ごして欲しいと思います。今後も時
間の流れの速さとまどいながら、
これまで以上に多くのことを学び、
出会い、選択することになるでしょ
う。本当に、これからが勝負。

三年三組

担任 山本 晃史
副担任 吉村 竜成

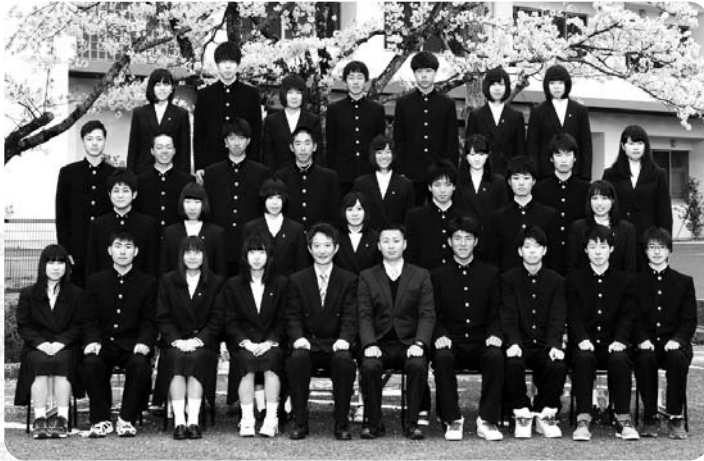
卒業おめでとう

担任 山本 晃史

二年生の皆さん卒業おめでとうございませう。年をとったせいか、四月に皆さんと一緒にスタートを切ったからここまで本当にあつたという間でした。あと数日で皆さんとお別れするのかと思うと本当にさみしい気持ちでいっぱいです。

私は皆さんが二年生の時にこの学年部の担任となりました。二年間ではありますが、皆さんが成長していく姿を近くで見守ることができたことをとても幸せに感じます。部活動も勉強もきちんと両立しながら頑張ってきた皆さんのことを本当に誇らしく思います。

私は大田高校に赴任して以来、ずっと思い続けていることがあります。それは「大田高校のような素晴らしい学校がまだこの現代に存在するんだ・・・」という感激の思いです。大田高校しか知らない皆さんにとっては、毎日の高校生活が当たり前のものと感ずるかもしれません、純粹で素直な皆さんと接していれば、恐らくどの先生も感じていらつしやることと思います。他校生には他校生のいい点もありますが、また残念



に感じることもあります。私がこれまで勤務した高校の中では、皆さんほど清々しく気持ちのいい高校生とは巡り会った経験がありません。卒業することで高校時代のかけがえのない友人と離ればなれになってしまうのですが、そばにいらなくてもお互いが高め合えるような存在であり続けてほしいと願っています。皆さんの大いなる飛躍を期待しています。そして大きく成長した皆さんと再び出会えることを心から楽しみにしています。健康に留意し、元気で頑張ってください。

三年四組

担任 森脇 健一
副担任 江田 修一

「シフクノトキ」

担任 森脇 健一

卒業生の皆さん、ついにこの日を迎えましたね。おめでとうございませう。三年前、着任と同時にこの学年の担任となりました。三年間持ち上がりで担任できたこと、本当に嬉しく思っています。

君たちと過ごした日々の中で心がけるようになったことがあります。それは、事ある度に『今は「シフクノトキ」である。』と自分に言い聞かせることです。

『至福の時』：(幸せなひと時)
こちらが話すときは、何も言わなくても顔が上がるようになった。球技大会で優勝し、みんなが大きな拍手に包まれた。学級日誌に、受験は辛いけど皆と一緒に頑張れると書いてあった。こんな時に言い聞かせました。たとえ小さな事と言われても、この喜びは担任の私しか得られないことだからです。今こそ幸せな時なのだ。

『雌伏の時』：(耐えるひと時)
学園祭や遠足など、クラスが団結する行事の度に言い聞かせました。こちらで段取りや助言をしてやりたいたいという気持ちに蓋をし、君たちを



見守ろうと決めていたからです。世の中常に事が順調に進む訳ではない。思考を凝らす今こそ君たちが成長する絶好の時なのだ。

『私腹の時』：(財産となる時)
君たちが卒業し、同じ空間で多くの時間を過ごせなくなると想像した時に言い聞かせました。寂しさよりも君たちに対する感謝の思いの方が強かったからです。今までの至福も雌伏もすべての時が私の財産として確立されるのだから、卒業の日こそ君たちに感謝すべき時なのだ。今後の活躍を期待しています。ありがとう。

【学校評価アンケートの結果について】

本年度の学校評価アンケートの結果をお知らせします。「学校評価」の制度は、本年度の本校の学校活動を、生徒・保護者・教職員が様々な項目で評価し、その結果を次年度の目標設定や改善策に生かして、より充実した教育活動の実践につなげていくものです。

このアンケート結果をふまえて、各担当分掌、学年会で反省と改善策を検討し、学校関係者評価委員会を経て、まとめたものを、後日公表いたします。

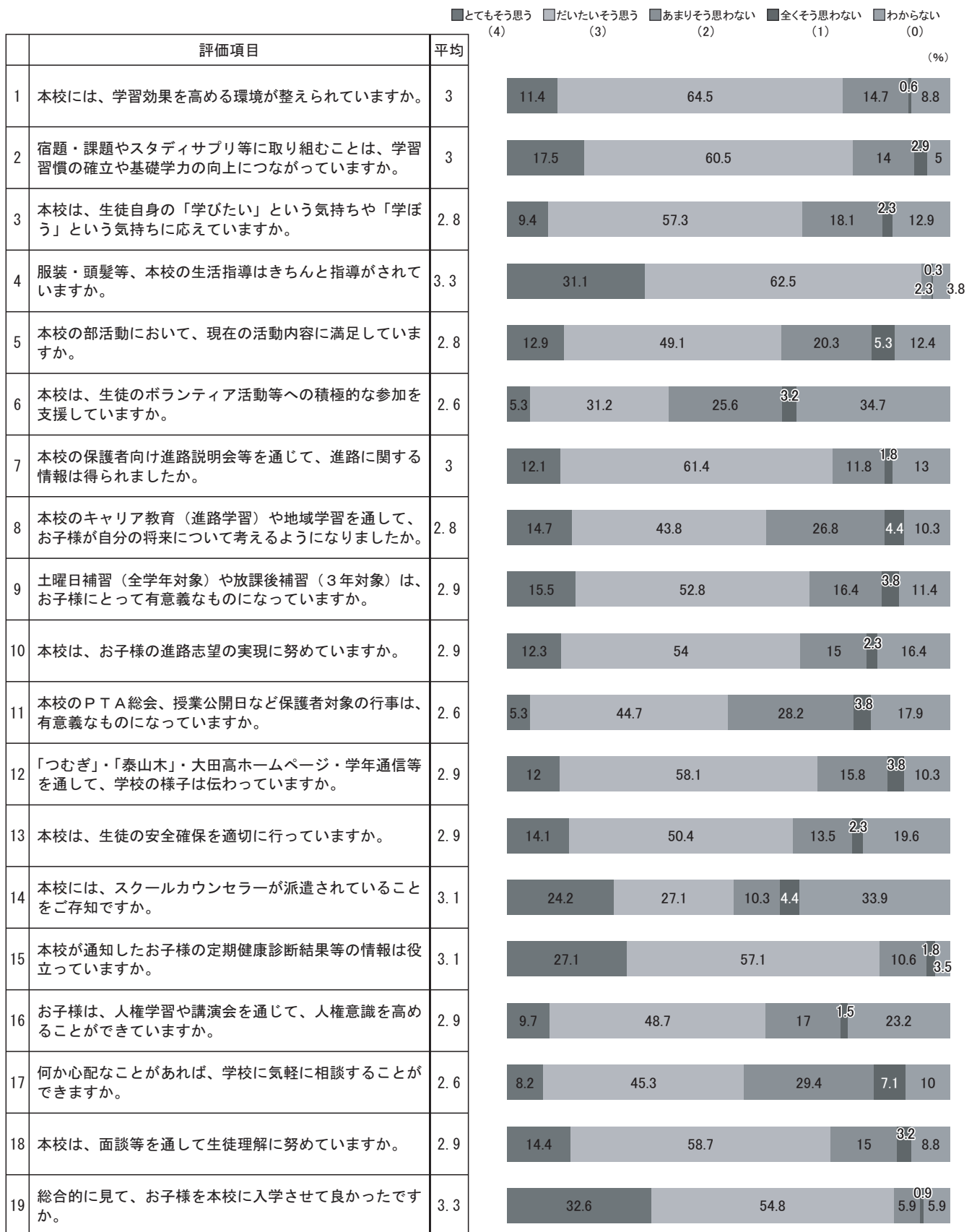
保護者の皆様にはアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

平成29年度 大田高校に関する生徒によるアンケート（全学年：376名回答）

■とてもそう思う (4) ■だいたいそう思う (3) ■あまりそう思わない (2) ■全くそう思わない (1) ■わからない (0)

評価項目	平均	(%)
1 本校には、学習効果を高める環境が整えられていますか。	3	17 66.8 10.6 1.6 4
2 宿題・課題やスタディサプリー等に取り組むことが、学習習慣の確立や基礎学力の向上につながっていますか。	2.9	15.2 54.3 17 5.9 7.7
3 本校は、自分から「学びたい」という気持ちや「学ぼう」という気持ちに応えていますか。	2.9	15.7 54 14.1 4 12.2
4 本校の図書館は利用しやすい雰囲気ですか。	3.0	23.7 39.2 18.4 3.2 15.5
5 本校の図書の蔵書構成（自分が読みたくするような本、調べ学習に役立つ本等）は充実していますか。	2.9	13.3 39.9 15.4 2.1 29.3
6 「図書館だより」や廊下等での書籍の紹介や貸し出しは、読書についての興味関心につながっていますか。	2.6	12.5 33 30.3 10.4 13.8
7 服装・頭髪等、本校の生活指導はきちんと指導がされていますか。	3.2	34.1 49.1 8.5 1.9 6.4
8 本校の部活動において、現在の活動内容に満足していますか。	2.9	23.5 40.5 15.7 6.4 13.9
9 本校は、学園祭の計画・運営など生徒会の活動が盛んになるように支援していますか。	2.9	19.4 44.4 14.4 5.3 16.5
10 本校は、生徒のボランティア活動等への積極的な参加を支援していますか。	2.8	12.2 41.8 15.7 4 26.3
11 本校の進路講演会や学年集会等を通して得た進路に関する情報は役に立っていますか。	3	22.9 54 12 3.2 8
12 本校のキャリア教育（進路学習）や地域学習を通して、自分の生き方や在り方について考えることができましたか。	2.8	12.2 51.1 19.1 3.2 14.4
13 土曜日補習（全学年対象）や放課後補習（3年対象）は学力向上に効果がありますか。	2.6	14.9 37.2 23.1 14.6 10.1
14 本校は、あなたの進路の実現に努めていますか。	3	17.6 55.1 11.2 3.5 12.8
15 「つむぎ」・「泰山木」・大田高ホームページ・学年通信等を通して、学校の様子は伝わっていますか。	3	21.5 38.3 10.9 3.7 25.5
16 本校は、生徒の安全確保を適切に行っていますか。	3.1	22.9 47.1 10.4 3.7 16
17 本校には、スクールカウンセラーが派遣されていることを知っていますか。	3.4	49.5 28.2 6.4 3.7 12.2
18 本校の保健講話や保健室からの情報発信は、自分自身の健康管理に役立っていますか。	2.9	17.9 41.6 17.1 5.1 18.4
19 あなたの健康管理・維持への本校の対応や指導は適切ですか。	2.9	16 48.8 13.9 3.5 17.9
20 人権学習や講演会を通じて、人権意識を高めることができましたか。	3.1	23.2 52 12 2.7 10.1
21 何か心配なことがあれば、学校に気軽に相談することができますか。	2.4	7.2 34 30.9 15.4 12.5
22 面談等を通して自分のことを理解してもらっていますか。	2.9	16.5 51.7 13.1 6.4 12.3
23 総合的に見て、本校に入学して良かったですか。	2.8	18.1 42.6 16.8 7.4 15.2

平成29年度 大田高校に関する保護者によるアンケート（全体：342名回答）



平成29年度 大田高校に関する教職員によるアンケート（38名回答）

■とてもそう思う (4) ■だいたいそう思う (3) ■あまりそう思わない (2) ■全くそう思わない (1) ■わからない (0)

評価項目	平均	(%)
1 本校は、ICT機器利用の環境が整えられていますか。	2.8	13.2 55.3 28.9 2.6
2 生徒が宿題・課題やスタディサプリ等に取り組むことは、学習習慣の確立や基礎学力の向上につながっていますか。	2.8	10.5 52.6 26.3 10.5
3 本校は、生徒自身の「学びたい」という気持ちや「学ぼう」という気持ちに応えていますか。	3	13.2 68.4 13.2 5.3
4 公開授業や研修を通じて、授業の改善が図られていますか。	2.9	5.3 73.7 15.8 5.3
5 本校の図書館は、生徒にとって利用しやすいですか。	3	7.9 68.4 10.5 13.2
6 本校の図書館の蔵書構成（生徒が読みたくするような本、調べ学習に役立つ本等）は充実していますか。	3	13.2 63.2 10.5 13.2
7 「図書館だより」や廊下等での書籍の紹介や貸し出しは、読書についての興味関心につながっていますか。	3.1	21.1 60.5 10.5 7.9
8 服装・頭髪等、本校の生活指導はきちんと指導がされていますか。	3.3	42.1 52.6 2.6 2.6
9 部活動の内容は、生徒、保護者にとって満足できるものですか。	2.9	13.2 57.9 13.2 2.6 13.2
10 本校は、生徒のボランティア活動等への積極的な参加を支援していますか。	3.1	23.7 57.9 15.8 2.6
11 本校は、保護者進路説明会等を通じて、保護者に進路に関する情報を伝えていますか。	3.3	34.2 57.9 5.3 2.6
12 本校は、進路講演会や学年集会等を通じて、生徒に進路に関する情報を伝えていますか。	3.2	28.9 63.2 5.3 2.6
13 本校のキャリア教育や地域学習は、生徒に自分の生き方について考えるものになっていますか。	2.9	18.4 39.5 21.1 2.6 18.4
14 土曜日補習（全学年対象）や放課後補習（3年対象）は、生徒の学力向上に役立っていますか。	2.8	13.2 50 23.7 2.6 10.5
15 本校は、生徒それぞれの進路志望の実現に努めていますか。	3.2	23.7 71.1 2.6 2.6
16 P T A総会、授業公開日など保護者対象の行事は、有意義なものになっていますか。	2.8	7.9 55.3 26.3 10.5
17 本校は、「つむぎ」・「泰山木」・大田高ホームページ・学年通信等で、学校の様子を伝えていますか。	3.4	50 44.7 5.3
18 大田市との連携によって本校の魅力化が推進されていますか。	3	18.4 52.6 10.5 5.3 13.2
19 本校は、生徒の安全確保を適切に行っていますか。	3.2	26.3 68.4 5.3
20 スクールカウンセラーの利用について周知されていますか。	2.9	15.8 55.3 26.3 2.6
21 生徒の健康管理・維持への対応や指導は適切ですか。	3.2	34.2 50 7.9 5.3 2.6
22 本校では、人権学習や講演会を通じて、人権意識を高める教育が行われていますか。	3.1	21.1 57.9 15.8 5.3
23 本校は、何か心配なことがあれば生徒や保護者が気軽に相談することができる学校ですか。	2.9	13.2 55.3 13.2 2.6 15.8
24 本校は、面談等を通して生徒理解に努めていますか。	3.1	21.1 65.8 7.9 2.6 2.6



文化 部

【JRC】

▽人権ユニバーサル事業
「おやこ多文化ひろば」 参加

【吹奏楽】

▽アンサンブルコンテスト島根県大会
高等学校の部 金賞
打楽器四重奏 金賞
（中国アンサンブルコンテスト
出場権獲得）
金管六重奏 金賞

【美術部】

▽島根県高校美術展
入選
中島奈美子 高木さくら
梶野ひなた 藤貞 優奈
阪井 悠太 河行 聖
吉田明日香 松本日菜子
田中 敬太

【茶道部】

▽サンデイズ双葉園ふれあい茶会
▽オランダ茶会 in 石見銀山
▽大高祭茶席
▽さんべ祭茶道体験ボランティア参加

運 動 部

【柔道】

▽県選手権大会
男子団体戦 大田 0-3 出雲工業
男子個人戦 大田 0-3 出雲工業
1回戦 大田 0-3 出雲工業
66kg級 福田 隆太
60kg級 皆田 勝温
女子個人戦 森田 鈴香
女子個人戦 初戦敗退

【剣道】

▽県新人大会
男子団体戦 大田 0-3 松江高専
1回戦 大田 0-3 松江高専
女子団体戦 予選リーグ
予選リーグ

▽女子個人戦
準々決勝 大田 2-0 出雲西
道下 陽菜 ベスト8
女子個人戦 大田 0-1 松江農林
（中国新人大会出場権獲得）

【サッカー部】

▽県新人大会
1回戦 大田 0-4 平田

【男子バレーボール】

▽県新人大会
予選リーグ
大田・江津 0-2 出雲工業
大田・江津 0-2 松江高専
予選リーグ敗退

【女子バレーボール】

▽県新人大会
大田 2-0 横田
大田 0-2 浜田商業
予選リーグ敗退

【男子バスケットボール】

▽県新人大会
1回戦 大田 31-59 島根中央

【テニス】

▽県学年別大会
2年生の部
山根 零生、安田 快紀
中島 一輝 …… 3回戦進出
福田 悠斗、安井 祐貴 …… 2回戦進出
中山 友朗 …… 初戦敗退
1年生の部
仲野遼太郎、西村 昭賢 …… ベスト16
浅津 聖智 …… 初戦敗退

中国大会

【ソフトテニス】

▽中国新人大会
男子団体戦 予選リーグ
大田 0-3 明誠学院
大田 2-1 福山工業
…… 予選リーグ2位通過
決勝トーナメント
大田 0-3 高松農業 …… ベスト8

【吹奏楽】

アンサンブルコンテスト中国大会
高等学校の部 金賞
打楽器四重奏 金賞

全国大会

▽全国高等学校弓道選抜大会
女子個人戦 予選 月森 結香
4射1中 …… 予選敗退

魅力化とは、何か

コーディネーター 森下真穂

近年、島根県全体で「教育の魅力化」が推進され、1年半前から大田市そして大田高校でも魅力化事業が始まりました。現在大田市では幼保小中高と教育の縦の連携を目的とした会が立ち上がりました。高校だけに限らず0歳から18歳までを見通した教育の魅力化に向けて体制を整えています。このように様々なところで「魅力化」という言葉が謳われていますが、「魅力化」とは一体何か。コーディネーターという立場である自分に問い続けてきました。

結論から言うと魅力化とは、学校に関わる人たちがより良い学校の在り方を考えながら「対話」を積み重ね、大田高校らしさを紡ぎだすプロセスそのものであると考えています。初めは、何か新しいことに取り組むことや特色を出していくことが魅力化と考えていましたが、それは結果に過ぎないということに気づきました。大田高校が目指す姿について対話を続けること、生徒が学びを深め、自分の道を一步步歩むこと、その中でチャレンジが生まれ、大田高校らしさを紡ぎだす。このプロセスこそが魅力化なのだと気づいたので。これは日々生徒に向き合い、学校の在り方について議論を重ねる先生方や学校生活に一生懸命取り組む大高生を見て、辿り着いた自分なりの答えです。みなさんは、どう考えるでしょうか。

めまぐるしく変わる時代の中で求められる力の変化や大学入試改革など、教育現場も大きく変わろうとしています。何が正解なのか大人でもわからない、そんな時代だからこそ学校だけではなく、家庭や地域それぞれの立場で「魅力化」とは何かを考え、対話を積み重ねていくことを大切にしていきたいです。



寒稽古



編集後記

三年生のみなさん、ご卒業おめでとう
ございます。様々な思い出のある母校を
あとにして、これから活躍されること
を期待しています。
今年度最後の「泰山木」に携わって、
生徒や保護者さんの思いから、高校生活
の苦しさの中にも充実した三年間だった
のだと感じることができました。
これからもできる範囲で行事を手伝い
生徒達の活躍を応援したいと思えます。
発行に伴い、先生方や生徒、保護者、
関係者の皆様に感謝申し上げます。
(大屋弘恵)

冬季オリンピックが熱くなりました。
それぞれの選手にサクセスストーリーが
あり、苦勞してきた選手、壁に当たり努
力してきた選手、選手の涙に感動させて
もらいました。そして今年、卒業を迎え
た大高生たちにとって、この春は、まさ
に新しいステージへの旅立ちの時。
未来につなげる為は今を大切に生きて
いって欲しいものです。これからの皆さ
んが、夢や希望に向かって成長されるこ
とを心から願っています。最後に、広報
誌を発行するにあたり御協力頂いた皆様
に深く感謝いたします。(加藤文造)

この広報誌が始まって四十五年の月日
が経つことを今このときに知る。
PTA広報誌「泰山木」として生まれ
変わったのは今から十七年前。
この広報誌のことを調べていくうちに
いろいろな歴史を感じるものが出来まし
た。

何気なく携わっていたことに後ろめた
さを感じながらも、この広報誌の一助が
出来たことに感謝をしています。

終わりに、ご多用のところ、各方面で
ご協力いただきました先生方、寄稿いた
だいた生徒や保護者の皆様、そして総務
委員会の皆様、ありがとうございました。

(安達智一)